

# 平成 30 年度 事業計画

## 在宅福祉センター

### 1 事業

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| (1) 老人デイサービスセンターの経営 | 青陽園デイケアセンター 定員 30 人 |
| (2) 老人居宅介護等事業の経営    | ヘルパーステーション川口        |
| (3) 居宅介護支援事業        | 居宅介護支援事業所川口         |
| (4) 地域包括支援センターの経営   | 地域包括支援センター川口        |

### 2 経営方針

- (1) 施設の安心・安全な運営
- (2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応
- (3) 事業の安定的・効率的な運営
- (4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化
- (5) 地域、後援会との連携

### 3 行動指針

- (1) 利用者の視点に立ったサービスを行う。
- (2) 利用者の尊厳と個性を重視したサービスを行う。
- (3) 個人情報保護、虐待防止など法令を遵守する。
- (4) 接遇など明るい職場作りをする。
- (5) 部門間の連携をとるなど、良好なチーム作りをする。

### 4 収支目標

デイサービスは、過年度実績参考から利用率 84%（在宅サービス事業者運営状況調査報告書 29 年 7 月発表：デイサービス平均定員数 32.1 人、平均稼働率 77.2%）、訪問介護事業は月平均利用者数 94 人、居宅介護支援事業は介護支援専門員 1 人当たりプラン月平均 35 人を目標とする。

地域包括は過年度実績参考から予防プラン月平均 216 人を目標とする。

### 5 実施内容

#### (1) 施設の安心・安全な運営

- ① 利用者・家族の個人情報の保護を徹底し、介護保険、その他の法令を遵守し、適切なサービスの提供を行う。
- ② 防災訓練や消防設備点検等を行い防災体制の整備をするとともに、天候や交通状況に注意し、丁寧・安全な運転に努め、デイサービス利用者送迎や自宅訪問を行う。
- ③ ヒヤリハット報告や事故対策の周知等により事故防止に努めるとともに、手洗いうがいの実施や情報周知等により感染症予防に努める。

- ④ 尊厳保持、虐待防止、身体拘束防止についての委員会を定期開催し、身体拘束ゼロ、虐待ゼロを継続するため、外部研修への参加、園内研修の実施、身体的拘束等適正化のための指針の整備を行う。
- ⑤ 安心・安全なサービス提供に資するように関係情報の周知や研修等を行う。
- ⑥ 地域包括支援センター川口は、市川口事務所建物の一部を使用している関係から、市川口事務所に連携して設備点検や防災活動に取り組む。

## (2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応

- ① 利用者・家族の要望・意見は、訪問やアンケート調査等を実施し、把握に努める。また、利用者・家族に納得が得られるようにサービス内容等については分かりやすい説明に努める。
- ② 相談・見学・体験等については丁寧な対応を行い、各事業所の在宅福祉サービスの役割についての理解を促進し、サービス利用に繋がるように努める。
- ③ 苦情が寄せられた場合は、その方の立場に立ち真摯に受け止め、適切な対応を行い、必要な改善を図る。
- ④ 家族介護者の介護負担軽減に寄与できるようにサービス提供に努める。
- ⑤ 行事や予定等の情報を適時提供して、必要時にはサービス利用に繋げるとともに、利用者・家族との信頼関係の向上を図る。
- ⑥ 地域包括支援センター川口は、高齢者あんしん相談センターとして、地域住民のニーズに丁寧に対応する。

## (3) 事業の安定的・効率的な運営

- ① 青陽園デイケアセンターは、施設機能と広い敷地環境を利用して、利用者本位のサービスを提供する。また、機能訓練指導員による個別機能訓練加算の取得により心身機能向上を図る。
- ② ヘルパーステーション川口は、利用者の在宅生活の安定と継続を目標にサービスを提供する。
- ③ 居宅介護支援事業所川口は、利用者と家族の意向を踏まえて、在宅生活を快適に営めるように計画書作成に努め、サービス提供事業者との連絡調整を行う。
- ④ 地域包括支援センター川口は、地域包括支援ケアシステム構築を目標に圏域の「地域住民・医療・介護・福祉」との連携体制の充実を図る。
- ⑤ 在宅事業所が連携して、平成30年度介護報酬改定に向けて、事業の安定的・効率的な運営に努める。青陽園デイケアセンターは、新たに創設された生活機能向上連携加算について検討する。居宅介護支援事業所川口は、医療と介護の連携強化を図る。ヘルパーステーション川口は、サービス提供責任者の明確化された役割に努める。
- ⑥ 月々の稼働率等を分析し、幹部会で評価し、更に経営の充実に努める。

## (4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化

- ① 運転技術の向上に努め交通事故ゼロを目指す。

- ② 各事業所での OJT や研修、在宅4事業所合同での研修、外部の研修や資格取得研修などにより、職員の知識・技術の向上に努める。
- ③ 法人行事や青陽園行事などへの取組みを通じて、職員の連帯感を高める。
- ④ 青陽園と連携して、年休の取得しやすい環境整備をし、積極的に年休取得を推進し、働きやすい職場づくり、メンタルヘルス対策を行う。

#### (5) 地域、後援会との連携

- ① 法人主催の夏祭り（7月27日（金）実施予定）、チャリティバザー（10月6日（土）実施予定）、防災訓練（10月24日（水）実施予定）等をとおして、地域、後援会との連携を図る。
- ② パンフレット、ホームページ等により適切な情報提供を行うとともに、「センターだより」（年12回発行予定）等により地域等への事業PRを行う。
- ③ 地域包括支援センター川口は、町会・自治会、シニアクラブや福祉施設等に対して福祉講座等を実施し、地域の介護予防や相談窓口となるように取り組む。
- ④ 関係事業所及び医療機関との情報交換や連携等を行う。
- ⑤ デイセンターは、ボランティアを積極的に取り入れ、活動の活性化と地域とのつながりを持つ。